



令和7年8月1日

「平和展」～戦後80周年を経て考える平和の大切さ～ 開催中！

戦争・被爆体験を忘れることなく未来へ語り継ぎ、平和の大切さを改めて考える機会となるよう、区内5つの会場で「平和展」を開催しています。

概要

■港区役所1階ロビー

テーマ：忘れてはならない原爆の脅威

期間：8月15日（金曜）まで

午前8時30分から午後5時15分まで
（土曜・日曜・祝日は閉館）

「ノーベル平和賞受賞パネル」

昨年10月にノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の受賞時の写真、賞状及びメダル（レプリカ）を展示しています。



※8月15日（金曜）には会場内で被爆体験伝承者講話も実施します。

■郷土歴史館4階講座室D・特別展示室

テーマ：東京への空襲と戦争体験者の想い

期間：9月30日（火曜）まで

午前9時から午後5時まで
（土曜は午後8時まで、第3木曜は休館）

「記憶の色を保存する 炎と灰のモンタージュ」

区内在住の画家・尾形純（おがた じゅん）さんによる、疎開先から東京大空襲を目の当たりにし、その後焼け跡に戻った尾形さんのお母様の記憶を辿りながら、空襲の炎、灰となった街の色を再現した作品群です。



※港区平和都市宣言40周年記念に制作した「港区戦争・戦災体験集（第4集）」を再構成したパネルも展示しています。

■ありすいきいきプラザ1階展示・読書コーナー テーマ：沖縄で起きた悲劇の地上戦

■赤坂図書館多目的ホール テーマ：命を最前線で懸けた多くの若者たち

■みなとパーク芝浦1階 テーマ：世界の人々の平和を脅かすもの

平和展の詳細はこちら（港区HP）

